

2月号

発行：アジェンダ 21 すいたエネルギー部会
編集：関西大学 良永ゼミ

平成 30 年 2 月 22 日発行

エコプレス

暮らしのCO₂ダイエットニュースレター

皆さん、こんにちは。関西大学経済学部、良永ゼミです！

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

さて、いよいよ今回が私達の手掛ける最後のエコプレスとなりました。

そこで、少しでも私達のことを知っていただきたく、出場した大会における成果やこれまで歩みについて寄稿しております。是非お楽しみいただければ幸いです。

一年間ご拝読いただき、誠にありがとうございました。

次号からは代替わりとなり、新三回生による新しいエコプレスをお届けして参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

CONTENTS

- ◆ 表紙・・ 1
- ◆ エネルギー班 全日本学生経済ゼミナール大会・・・・・・・・・・・・ 2
- ◆ ごみ班は…携帯電話のリサイクルについて発表しました!!・・・・ 3
- ◆ 生物班 プレゼン大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ◆ 良永ゼミの一年・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5, 6
- ◆ 納会で年収め・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ◆ イベント紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

全日本学生経済ゼミナール大会

エネルギー班は全日本学生経済ゼミナール大会の環境分科会において優勝しました。さらに各分科会の優勝ゼミナールが集う決勝大会において3位という結果を残すことができました。



私たちエネルギー班は、日本における発電時の二酸化炭素排出量に注目しました。日本は発電電力の約80%を火力発電によって発電しています。しかし火力発電は発電時に化石燃料(石炭・石油・天然ガス)を燃焼させるので、大量の二酸化炭素を排出してしまいます。さらにその化石燃料の大半を海外からの輸入に頼っているため多額の費用がかかっています。

そこで私たちは火力発電の代替エネルギーになりうる発電方法として、二酸化炭素を排出せず、燃料を輸入しない自給自足型のエネルギーとして水力発電に注目しました。水力発電のポテンシャルを最大限に活かせば日本の発電電力量の40%を水力発電で賄うことができるという試算ができました。個人でも導入できる中小水力発電も、今後注目すべきだと考えています。



私たちの提案では、水力発電の導入を促進するために、導入者に対して補助金を支給するのが良いと考えました。家庭・産業の電気料金にそれぞれ1kWhあたり0.05円・0.25円の賦課金を徴収し、それを水力発電事業者への補助金の財源にするというものです。家庭の年間負担額は約256円ですので、決して大きな負担にはならないと考えています。

←個人でも用水路などに導入可能な中小水力発電機

ごみ班は…

携帯電話のリサイクル

について研究発表しました!!

皆さんは、使わなくなった古い携帯電話をどうしていますか？たんすの奥深くに眠ってはいませんか？現在、日本にはそういった処分されていない使用済み携帯、いわゆる「退職携帯」が約2億3000万台も存在すると言われています。実は、これらは希少金属を高い割合で含む重要な資源であり、リサイクルできれば大きな資源循環効果を創出できるのです！

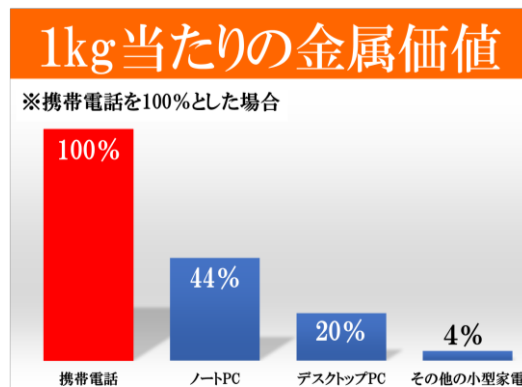
希少金属とは産出量が少なく、希少性の高い金やレアメタルのことを言います。これらは日本ではほとんど産出できず、海外からの輸入に頼らざるをえない上に、枯渇や偏在のリスク、採掘による環境負荷が大きいという問題をはらんでいます。



⇒しかし、現在の携帯電話回収率…約2%

2013年に小型家電リサイクル法が施行され、携帯電話もその回収対象とされました。しかし、他のリサイクル法に比べて小型家電は回収品目が多いために関連企業同士の役割分担が難しく、自治体やリサイクル業者へコストのしわ寄せがくるため、回収率が上がらないという現状があります。

では、携帯電話に特化したリサイクル制度を確立すれば希少金属を効率よく回収できるのではないのでしょうか？



そこで… **モバクル制度** を提案します!

これは携帯電話の回収を促進し、希少金属を循環利用する制度であり、以下の3つを提案しました。

✚ キャリアの各店舗での回収

個人情報漏えい防止に有効、かつ、機種変更時などついでに持参できます。(消費者の92.6%が廃棄先に希望)

✚ キャッシュバックの導入

退職者の83%が1000円キャッシュバックにより参加するという調査結果があります。

✚ EPRの適応

※EPR(拡大生産者責任)…生産者が製品の生産・使用段階だけでなく廃棄・リサイクル段階まで責任を負うという考え方。そのためにはライフサイクル関係者による役割分担が必要。

そこで、携帯電話においては以下の約割分担を行う。

「生産者」: リサイクル義務、「キャリア(携帯電話会社)」: 回収義務、「消費者」: リサイクル料金の支払義務

日本学生経済ゼミナール
大会環境部門で準優勝♪

総評 経済発展と環境保護を両立することは非常に困難ことです。しかし、天然資源の供給危機に直面している今、誰か一人が負担を背負い込むのではなく、社会全体での取組が必要です。実際に、先進国においては環境や人権問題に積極的な企業には投資を増やし、そうではない企業からは資金を引きあげ、厳しい対応を迫る※「ESG投資」の動きが拡大しています。その波は日本にも到達しており、多くの企業が「環境・社会・ガバナンス」への取り組みを求められています。日本は未だに環境保護の観点において世界に大きな遅れをとっているのが現状ですが、今が「環境先進国日本」への転換期なのではないでしょうか。

※ESG…「Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)」の略。

生物班 プレゼン大会

発表概要

現在、日本の林業は衰退の一途をたどっています。その主な原因となっているのが、地方都市における林業従事者の高齢化や安い外材の輸入です。そこで、私たちは国産材の品質という観点で林業の復活が図れないかと考え、世界的に広まっているFSC認証に着目しました。この認証は適切な森林の管理基準を定め、木材の品質を保証するものです。しかし、この認証を取得するには莫大な費用がかかるため、取得率は低迷しています。そのため、今はまだ一部地域にしか導入されていない森林環境税という税を全国に導入し、その税収を認証の取得にかかる費用に充てる、といった提案をしました。森林からの恩恵は国民全員が受けているので、費用を負担し合うべきではないのでしょうか。



結果報告

私たち生物班は、日本学生経済ゼミナール大会地域経済部門で準優勝という結果を収めることができました。

感想

結果として優勝という結果には至りませんでした。が、プレゼン発表に至るまでの過程は「確実に私たちのこれからにつながってくる」、そう感じており、これからの就職活動の糧にしたいと思います。

良永ゼミこれまでの歩み

『エコプレス』の寄稿・編集を担当させていただいている良永ゼミですが、これまで私達の紹介をしたことがありませんでした…。そもそも、良永ゼミとはどんなゼミなのでしょう？最後に私達のことを少しでも知っていただきたいと思い、2016年（2回生）からの時系列と共に簡単な紹介をさせていただきます♪

6月 顔合わせ



はじめてのゼミ行事です。ゼミ選考後、すぐに顔合わせが行われ、私達の歩みはここから始めました！

良永ゼミの新入生として、先輩方に歓迎していただきました♪この時はまだ緊張していましたが、この後に開かれた夕食会では初めて顔を合わせる仲間たちとたくさん話すことができました。ゼミが本格的に始まる前に少しでもみんなと打ち解けられる良い機会となりました。

7月 BBQ

夏の日差しが照り付ける中、BBQをしました！あまりの暑さに、アイスは食べるそばから溶けて滴り落ちるほどでした。このように、良永ゼミではゼミ生同士が仲良くなれる機会が他ゼミより早くセッティングされているのが魅力です♪



9,10月 六甲・飛鳥合宿



9月からいよいよ本格的にゼミが活動し、初めての合宿も行われました！環境に関する参考図書を一人一人がレジユメにまとめ、全員が輪になって発表し合う「輪読」を行いました。また、夜にはUNO大会が行われるなど、新しい学びと楽しい思い出を作ることでできた合宿でした。

3月

エコッキング・六甲合宿

エコッキングでは、地球環境を思いやりながら行う買い物・調理・片づけの方法を実践的に教えて頂きました！あらゆる環境問題の中で、「食」に関する問題は私達にとって最も身近であると共に、最も取り組みやすくもあります。キッチンから始めるエコ活動として、さらに世間へ広めていくべきだと感じました。

六甲合宿では、生物班・ごみ班・エネ班が発足し、各テーマに基づきよりより深い研究とプレゼン大会への準備がはじまりました。



5月

高槻合宿・田植え



高槻合宿では、班ごとの輪読とさらにより詳細なテーマ設定を行い、お互いの力を伸ばし合いました。

また、『環境こだわり農産物』について滋賀県 JA びわこさんへ調査に行きました。実際に田植え体験をさせていただき、最後には現地でとれたお米を実食させていただきました。このように、実際に自分の目と耳で学習することで座学では味わえない驚きと感動を得られることも、良永ゼミの大きな魅力の一つです。

7,9月

六甲・彦根合宿

合宿では、班ごとにおける研究の進捗状況を報告し合いました。自分達の班内だけでは視野が狭くなりがちなので、合宿では特に他の班メンバーからの意見を大切にしました。また、夜中までお互いの意見を何度も反駁し、貴重な意見や考え方が隠されていないかを確認め合い、プレゼン大会へ向けて追い込みをかけました。



11月

飛鳥合宿・プレゼン



飛鳥合宿では、OBOG の方々がいらっしゃり、就職懇談会が開かれました。金融やメーカーなど様々な業界で働いていらっしゃる先輩方から直接お話を聞くことができ、就活に向けてより真剣に考える貴重な機会となりました。

そして、これでとうとう 7 回目の合宿…。初めての顔合わせで緊張していたあの頃が嘘のようにみんな仲良くなれました。これが、つらい時期も共に乗り越えられる原動力になったのだと感じています。

いよいよプレゼン大会。これまでの私達の集大成を大勢の人に披露しました。結果はそれぞれ違いますが、このような取組みを通じて仲間の変化や自分の成長に気付き、チームで一つの目標に向かって頑張ることの意義と遣り甲斐を一人一人が感じることができました。良永ゼミでの貴重な経験は、私達のこの先の人生においても必ず活かされてくると思います。



納会で年収め

良永ゼミでは、毎年12月にクリスマス会を兼ねた納会を行っています！関西大学のレストランチルコロを貸し切って行う、豪華なディナービュッフェです♪1人1,000円以内でプレゼントを持ち寄り、交換会もしました！

4回生は就活が終わり、残すは卒論のみ。ラストスパート、頑張ってくださいね!!また、3回生のプレゼンにもアドバイスをくださり、ありがとうございました。

3回生は大会が終わり、ひと段落。一年間、良永ゼミの主演として走り抜けました！今年はいよいよ就活…荒波を乗り越えた良永ゼミ生の底力を発揮していきましょう!!

2回生はこれからが本番ですね。プレゼン大会出場を目指して頑張ってください！そして、エコブレスの更なる発展をお願いします♪



良永先生、還暦おめでとうございます！



サプライズケーキを用意しました♪

良永康平先生、通称「校長」。ハリーポッターが大好きなのでダンブルドア校長に例えてそう呼ばれています♪写真の通り、気さくでチャーミングな先生です♡副学長ということもあり毎日ご多忙のようです。しかし、それでも達のためにいつも時間を割いてくれる優しい先生です！そんな校長も今年で還暦・・・！いつまでも元気で明るい校長でいてくださいね。還暦おめでとうございます！



イベント案内

○生物多様性講演会

～ウニはすごい バッタもすごい～ 「生きもののすごいデザインと生物多様性」

現在の地球は、生物の6度目の大量絶滅期にあるといわれています。

生きものたちの生存戦略をかけたさまざまなすごいデザインを知ることを手始めに、40億年をかけて進化してきた精妙な生態系システムと私たちの暮らしや生命がそれに支えられていること、そして、生物多様性の保全の大切さを語っていただきます。

◆講師 本川 達雄 氏（「ゾウの時間 ネズミの時間」の著者）

◆対談者 木庭 元晴 氏（関西大学特別契約教授 理学博士）

◆日時 2018年3月17日（土）14：00～16：00（13：30開場）

◆場所 関西大学 ソシオ AV 大ホール

◆定員 400名（申込不要） ◆費用 無料

◆お問い合わせ 吹田市環境部環境政策室 本川達雄氏講演会担当（TEL：06-6384-1782）



エコプレス1月号

発行：アジェンダ21 すいたエネルギー部会

〒564-8550

吹田市泉町 1-3-40 吹田市役所環境部環境政策室内

TEL：06-6384-1782

FAX：06-6368-9900

編集：関西大学経済学部良永ゼミ

- 表紙・・・釜阪
- エネルギー班 全日本学生経済ゼミナール大会・・・井上
- ごみ班は携帯電話のリサイクルについて研究発表しました!!・・・釜阪
- 良永ゼミ 生物班 プレゼン大会・・・泉本
- 良永ゼミこれまでの歩み・・・釜阪
- 納会で年収め・・・釜阪

～編集後記～

- 皆さんの自宅に眠る使われなくなった携帯電話は、資源の乏しい日本にとって大切な資源に成り得ます。吹田市では排出されたごみから選別を行い、携帯電話などの小型家電を回収しているそうです。また、世間でも東京オリンピックで使用されるメダルをリサイクルによって製造する『都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト』という動きが広がっています。お近くの家電量販店等にも回収ボックスが設置されている場合がありますので、ぜひチェックしてみてください！（釜阪）
- プレゼン大会を通じて、色々学ぶことができました。それらを活かして就活を頑張りたいと思います。（泉本）
- 全国3位という結果も大事ですが、それを獲得するまでの研究過程での経験を今後に生かしたいです。（井上）